

水道水の放射性物質について

東松山市の水道水は概ね県水が8割、市水が2割です。

県水は行田浄水場と吉見浄水場から受水しています。

行田浄水場は利根川水系の水を、吉見浄水場は利根川水系と荒川水系を合わせた水を浄水しています。

県水の放射性物質については、5月8日以降7月12日まで放射性ヨウ素、放射性セシウムについて不検出となっています。詳細につきましては、埼玉県のホームページにてご確認ください。また、市水についても、3月24日以降7月12日現在まで放射性ヨウ素、放射性セシウムについて不検出となっています。

当分の間、定期的に検査を継続していく予定ですので、東松山市のホームページにて検査結果をご確認ください。

今後も安心、安全な水を安定的に給水できるよう努めていきます。

蛇口周りには物を置かないようにしましょう

水道の蛇口周りに物を置いていると、地震等の非常時に落下するなどして蛇口を破損することがあります。

日頃より、蛇口の周囲にはできるだけ物を置かないよう心がけましょう。

また、蛇口の種類によっては、落下物が当たることで栓が開き、水が出たままになってしまうことがあります。（レバーを下げると水が出る構造の蛇口は、特に注意が必要です）

外出時や旅行中等で不在の間、水が出たままになっていることに長時間気付かずにいると、水道使用量が増加し、料金が高額になってしまうこともありますので、ご注意ください。

熱中症を防ぎましょう

8月は熱中症発生のピークです。熱中症を正しく理解し、予防に努めましょう。

◎熱中症の症状

高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調節機能がうまく働かないことにより、体内に熱がたまり、筋肉痛や大量の発汗、さらには吐き気や倦怠感などの症状が現れ、重症になると意識障害等が起こります。

◎熱中症の予防法

- ・ こまめな水分・塩分の補給（高齢者、障害児・障害者の方は、のどの渇きを感じなくても水分補給を）
- ・ 熱中症になりにくい室内環境の確保（扇風機やエアコンを使った温度調整、こまめな換気など）
- ・ 体調に合わせた取り組み（こまめな体温測定、保冷剤・氷・冷たいタオルなどによる体の冷却）

◎熱中症になった時の処置

1. 涼しい場所へ避難させる
 2. 衣類を脱がせ、身体を冷やす
 3. 水分・塩分を補給する
- （自力で水を飲めない、意識がない場合は、直ちに救急隊を要請しましょう）

編集・発行

東松山市 建設部 水道課

〒355-0076	東松山市大字下唐子814番地	TEL	0493-22-1123
ホームページ	http://www.hmywater.jp	FAX	0493-22-4389
営業時間	平日の午前8時30分から午後5時15分まで		